

症例検索結果一覧表示画面 (フリーワード検索例: アセトアミノフェン)

http://www.j-poison-ic.or.jp/shourei/pdf/folderCase_0490.pdf?view=count=6 - Microsoft Internet Explorer

症例検索結果一覧 (4件)

医薬品	曝露物質	曝露経路	曝露量	患者年齢層	症例タイトル	転帰	重症度	
1 医薬品	アセトアミノフェン	経口	3.98g	20-64歳	常用者が過量摂取し、NAC投与、血漿交換にかかわらず肝障害により死亡した例	死亡(18日)	死亡	特異例 (11)
2 医薬品	アセトアミノフェン	経口	32g	20-64歳	意図せず、過量、肝障害をきたし、血漿交換、NAC投与を行った例	生存(入院30日)	重症	典型例 (11)
3 医薬品	アセトアミノフェン	経口	16g	20-64歳	嘔吐、腹痛をきたしたが、NAC投与、DPで改善した例	生存(入院7日)	重症	典型例 (11)
4 医薬品	アセトアミノフェン	経口	48g	20-64歳	嘔吐、肝障害をきたし、NAC投与を行った例	生存	重症	特異例 (11)

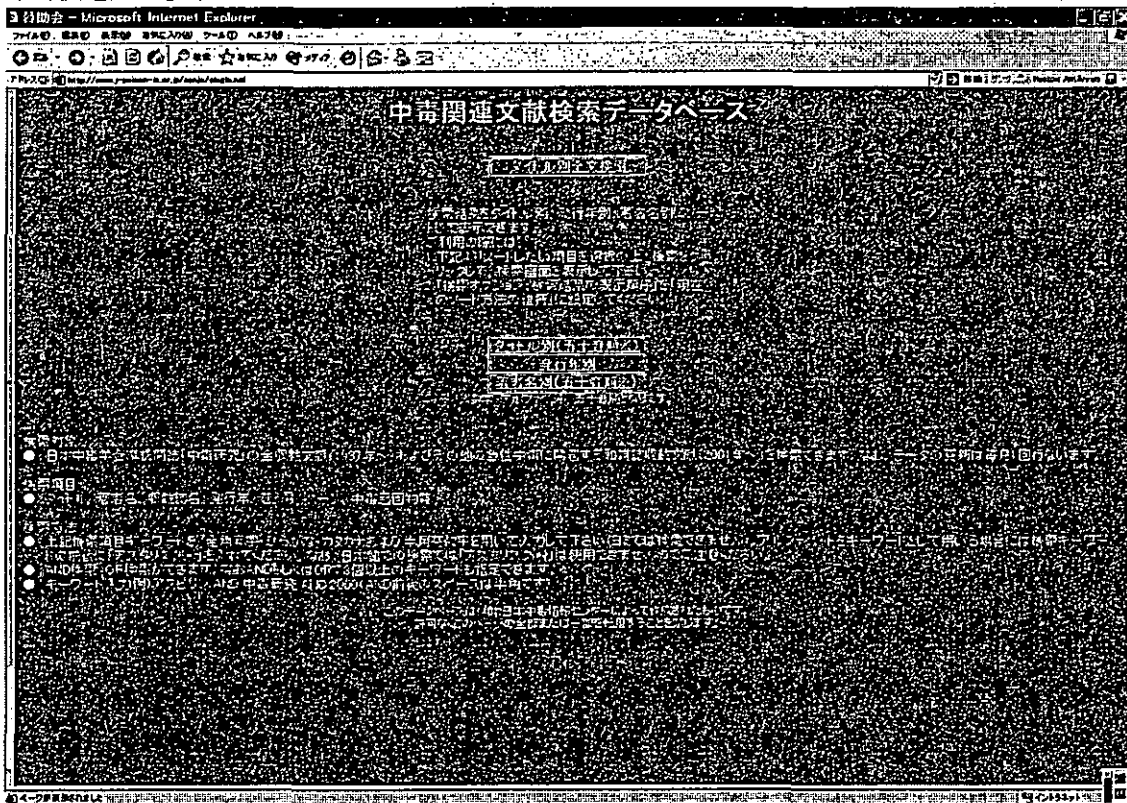
症例の詳細

http://www.j-poison-ic.or.jp/shourei/119900422053.pdf - Microsoft Internet Explorer

曝露物質分類	医薬品	119900422053
曝露物質	アセトアミノフェン	
曝露物質詳細		
曝露経路	経口	
曝露量	3.98g	
患者年齢層	20-64歳	
転帰	死亡(18日)	
症例タイトル	常用者が過量摂取し、NAC投与、血漿交換にかかわらず肝障害により死亡した例	
患者	29歳(女性)	

図1-2 会員向けホームページ 新規掲載項目 (中毒症例提示データベース)

中毒関連文献検索データベース



タイトル別

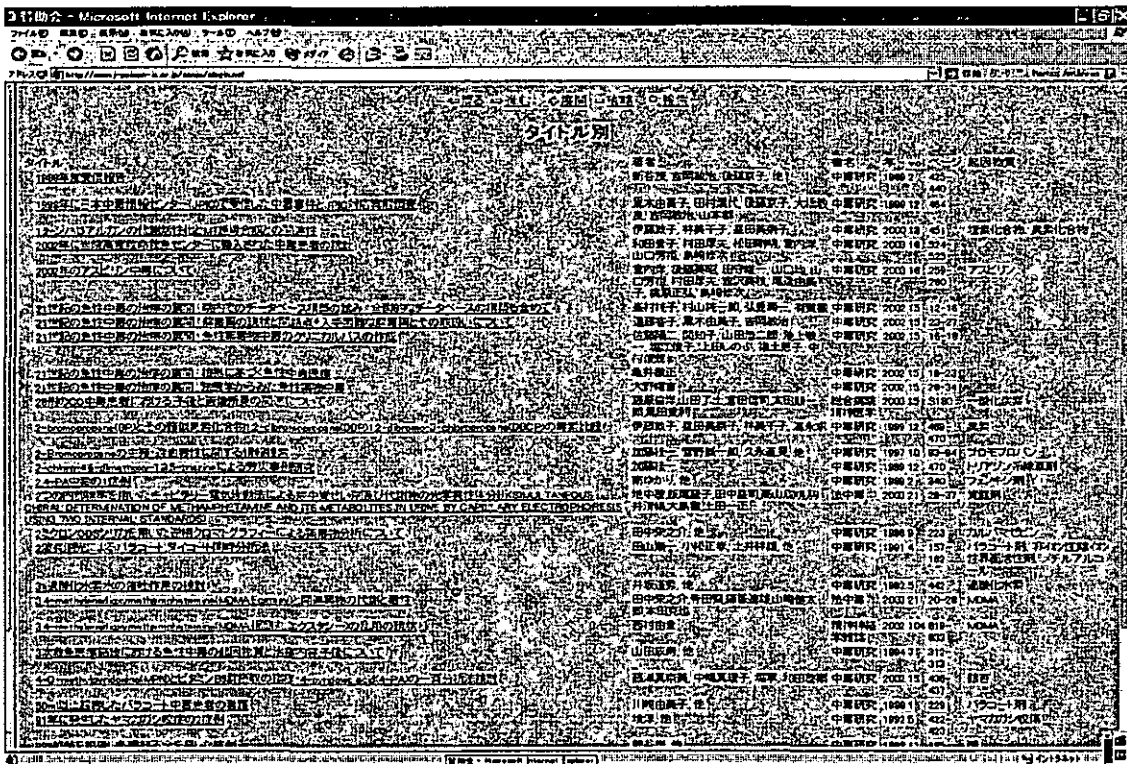


図 2-1 会員向けホームページ 新規掲載項目 (中毒関連文献検索データベース)

発行年別

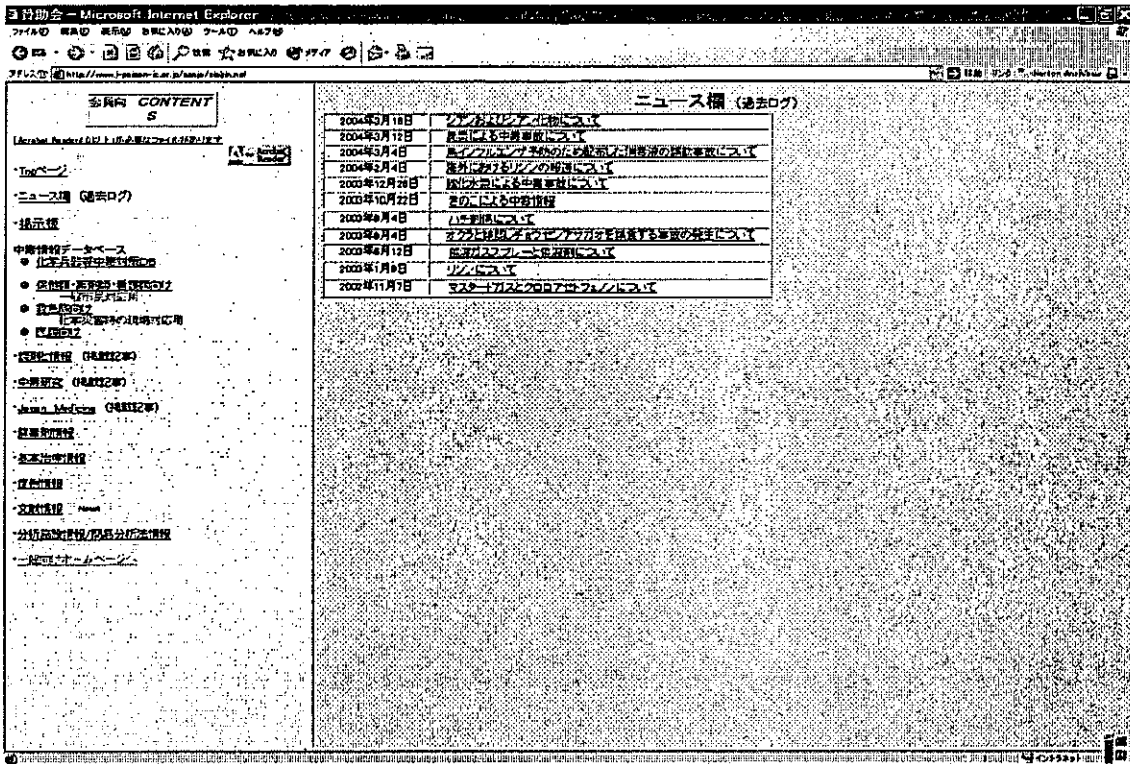
年	著者名	タイトル	書名	巻	ページ	題名物質
2003	伊藤正広	有機リン中毒の基礎と臨床	中毒学	13	有機リン剤	
1997	寺尾誠	急性中毒における薬毒物分析について	中毒学	15-18		
1997	徳本千穂, 池田洋, 十川博孝, 植坂隆行, 白川邦一, 小坂眞	血漿(血清)中チオチオ定置法-ラジカル分析による血漿(血清)中のチオチオ定置法とその応用	中毒学	19-20	チオチオ定置法	
1997	結城直樹, 小野寺二朗, 森内典子, 藤井浩一, 堀越正樹	マウスに於けるα-トコフェロールの急性毒性	中毒学	21-24	α-トコフェロール	
1997	水谷太朗, 近藤隆一, 中村孝一, 小山虎二, 岡田隆	α-トコフェロール中毒症候群とα-トコフェロール中のトコフェロール	中毒学	25-28	α-トコフェロール	
1997	野川隆雄, 伊藤隆行, 有根隆生	アピリン中毒	中毒学	31-34	アピリン	
1997	中村孝一, 白川文子, 丸山真二, 立石雄太	ドクサコ中毒	中毒学	35-38	ドクサコ	
1997	徳本千穂, 池田洋, 十川博孝, 植坂隆行, 白川邦一, 小坂眞	アピリン大用量投与による急性腎不全と尿酸の蓄積下の尿中尿酸	中毒学	41-44	アピリン	
1997	佐野伸子, 長崎隆, 白木重雄	電子顕微鏡によるボツジニア型中毒	中毒学	45-48	ボツジニア型	
1997	吉田富昭, 山下雅	カンゾウ中毒の一症例	中毒学	49-50	カンゾウ	
1997	伏見孝子	日本中毒情報センターから	中毒学	51-53		

著者名別

著者名	タイトル	書名	巻	ページ	題名物質	
Abdelmonem Kamel Elanwar, Mohamed Elmaghrabi, Abdelkader Ouedraoui, Yasmer Elmaghrabi, Mohamed Elmaghrabi	ワドニによる肝内浮腫に伴う薬毒性肝炎(Drug-induced hepatitis with hepatic prothrombin due to warfarin)	Journal of Gastroenterology	2002	37	1029	ワドニ
Arakawa Akio, Saito Kiyoshi, Okamoto Kazuo, Saito Kiyoshi, Okamoto Kazuo	母子経口アピリン経尿排泄人尿中のアピリンとアピリン代謝物	Legal Medicine	2002	4	112-118	アピリン
Arakawa Akio, Saito Kiyoshi, Okamoto Kazuo, Saito Kiyoshi, Okamoto Kazuo	トリクロロエチレンおよびトリクロロエチレン誘導体による急性肝臓炎の1例	Legal Medicine	2002	4	102-108	トリクロロエチレン, トリクロロエチレン誘導体
Arakawa Akio, Saito Kiyoshi, Okamoto Kazuo, Saito Kiyoshi, Okamoto Kazuo	アピリン中毒症候群の症例	中毒学	1998	8	221-223	アピリン
Chakravarti Lakshmi, Chakravarti Pratibha, Chakravarti Pradyumn	カンナブノールの致死効果(Poisonous Consumption of Cannabis)	法医学	2003	21	184-185	カンナブノール
Chakravarti Lakshmi, Chakravarti Pratibha, Chakravarti Pradyumn	韓国における薬剤過剰摂取による急性肝臓炎(acute liver injury associated with drug overdose and hepatitis in Korea)	法医学	2002	20	146-148	
Chakravarti Lakshmi, Chakravarti Pratibha, Chakravarti Pradyumn	インドの工業都市におけるアピリン中毒	Journal of Occupational Health	2001	43	189-191	アピリン
Chakravarti Lakshmi, Chakravarti Pratibha, Chakravarti Pradyumn	エタノール中毒による血液検査値の異常性(Liver enzyme induced curable blood flow after ethanol intoxication)	Psychiatry and Clinical Neuroscience	2003	57	221	LDHA
Chakravarti Lakshmi, Chakravarti Pratibha, Chakravarti Pradyumn	インドの呼吸器疾患とアピリン中毒 (A Case of Acute Liver Injury Associated with Inhalation of Insecticides in India)	Environmental Health and Preventive Medicine	2002	7	102-112	トリクロロエチレン
Chakravarti Lakshmi, Chakravarti Pratibha, Chakravarti Pradyumn	アピリンによる急性肝臓炎の原因と見られる死亡例 (A fatal case considered to be due to acute hepatitis associated with butane inhalation)	Legal Medicine	2002	4	134-138	アピリン
Chakravarti Lakshmi, Chakravarti Pratibha, Chakravarti Pradyumn	慢性肝臓炎を伴った急性肝臓炎(acute liver injury associated with chronic liver disease)	Acta Medica Scandinavica	2001	25	429-431	フェニトイン
Chakravarti Lakshmi, Chakravarti Pratibha, Chakravarti Pradyumn	急性肝臓炎を伴った急性肝臓炎(acute liver injury associated with acute liver disease)	中毒学	1998	8	422-423	MET
Chakravarti Lakshmi, Chakravarti Pratibha, Chakravarti Pradyumn	急性肝臓炎を伴った急性肝臓炎(acute liver injury associated with acute liver disease)	中毒学	1998	11	63-68	有機リン剤
Chakravarti Lakshmi, Chakravarti Pratibha, Chakravarti Pradyumn	米国における急性肝臓炎(acute liver injury in the United States)	中毒学	1996	9	206-210	
Chakravarti Lakshmi, Chakravarti Pratibha, Chakravarti Pradyumn	日ノへの急性肝臓炎(acute liver injury in Japan)	Legal Medicine	2002	4	102-112	日ノ
Chakravarti Lakshmi, Chakravarti Pratibha, Chakravarti Pradyumn	急性肝臓炎を伴った急性肝臓炎(acute liver injury associated with acute liver disease)	International Medical Journal	2001	8	212-217	一酸化炭素
Chakravarti Lakshmi, Chakravarti Pratibha, Chakravarti Pradyumn	埼玉大市における急性肝臓炎(acute liver injury in the city of Saitama)	The Nihon University Journal of Medicine	1998	40	281-283	チロシドコリン
Chakravarti Lakshmi, Chakravarti Pratibha, Chakravarti Pradyumn	急性肝臓炎を伴った急性肝臓炎(acute liver injury associated with acute liver disease)	Acta Medica Scandinavica	2001	25	429-431	シメトリン
Chakravarti Lakshmi, Chakravarti Pratibha, Chakravarti Pradyumn	急性肝臓炎を伴った急性肝臓炎(acute liver injury associated with acute liver disease)	中毒学	1997	10	25-28	有機リン剤
Chakravarti Lakshmi, Chakravarti Pratibha, Chakravarti Pradyumn	急性肝臓炎を伴った急性肝臓炎(acute liver injury associated with acute liver disease)	Biological & Pharmaceutical Bulletin	2003	51	540-543	フルボネン

図2-2 会員向けホームページ 新規掲載項目 (中毒関連文献検索データベース)

ニュース欄



(掲載例：海外におけるリンシンの報道について)

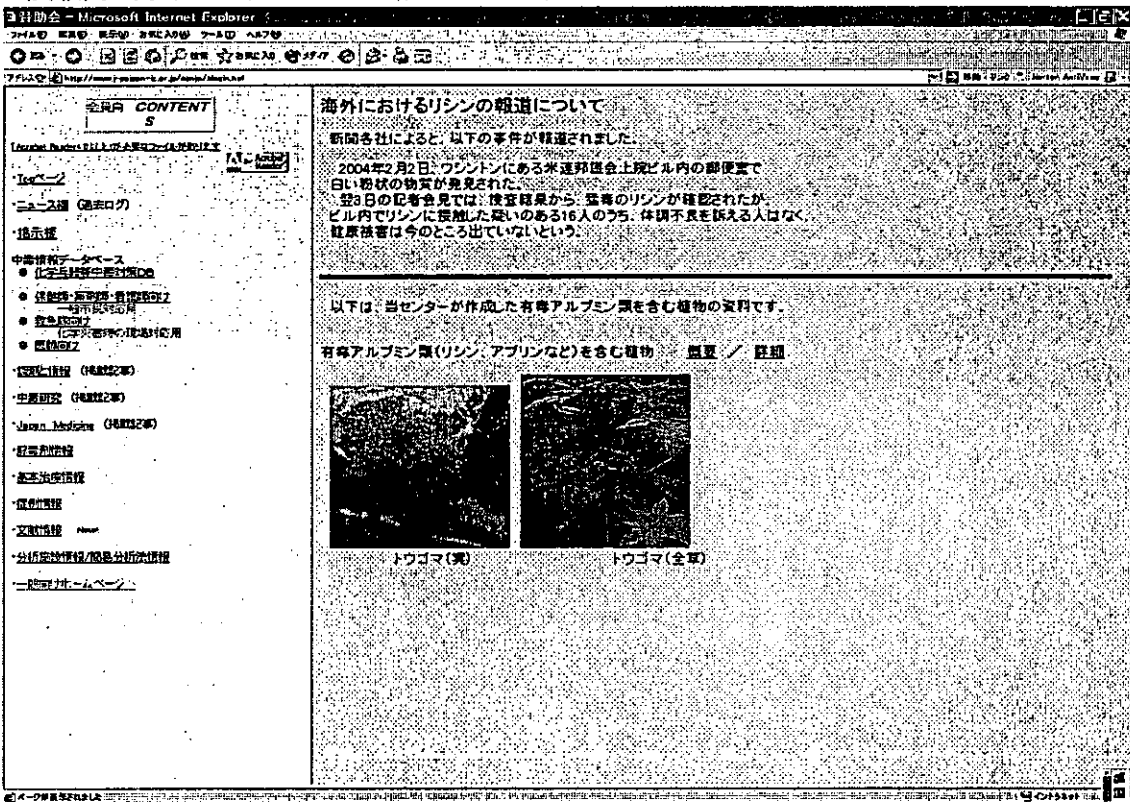
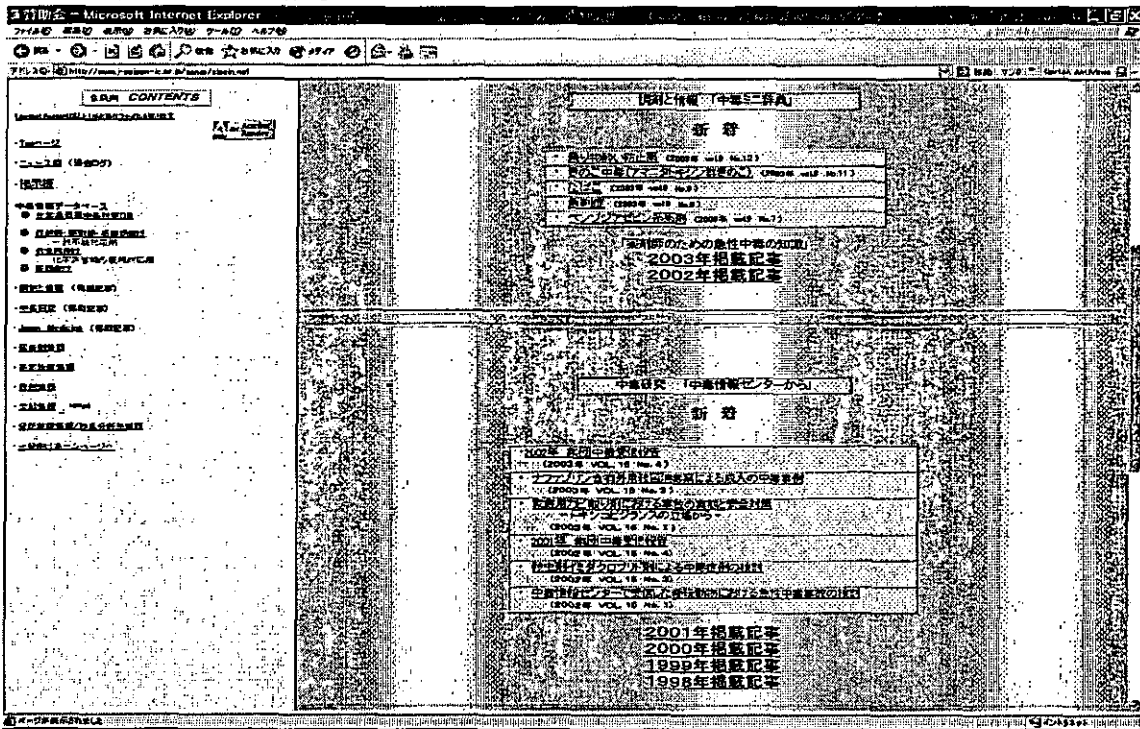


図3 会員向けホームページ 掲載内容の追加更新 (ニュース欄)

調剤と情報「中毒ミニ辞典」



(掲載例：乗り物酔い防止薬)

中毒ミニ辞典

乗り物酔い防止薬

日本中毒情報センター
遠藤 容子 [ENDOU Youko]

乗り物酔い防止薬は、乗り物酔いによるめまい、吐き気、頭痛などを予防または緩和する内服用薬です。ほとんどの製剤は、抗コリン作用を有するメクリジン、ジフェンヒドรามミンなどの抗ヒスタミン剤が主成分になっています。その他の成分として、スコポラミンなどの副交感神経遮断薬、ジプロフィリンやカフェインなどのキサンチン系中枢興奮剤、ブロムワレリル尿素、アリルイソプロピルアセチル尿素

います。

症例

【13歳女児、体重30kg、意図的服用】

朝、自室にて意味不明な発語をして不穏状態であるところを家人に発見された。前夜23時15分に市販薬Tを100錠(サリチル酸ジフェンヒドรามミン80mg/kg、ジプロフィリン52mg/kg相当)服用したとのメモと布団に嘔吐の跡があり、救急車で8時30分に受診した。

受診時、覚醒はしているが自分の名前をいえない程度の意識障害と筋線維性痙攣、反射亢進、痙攣、両上肢硬直があり、嘔気・嘔吐、顔赤、チアノーゼ、興奮、発汗過多、聴覚過敏が認められた。胃洗浄、活性炭・下剤投与、強利尿剤が施行された。

入院後は、よらつきと倦怠感が第3病日まで続いたが、第4病日からは自力歩行が可能となった。血液検査では、第2～3病日にAST、ALT、LDHの軽度上昇と、第1～8病日にCPKとアルドラーゼの上昇が認められたが、第10病日に完治退院した。

中毒発現のメカニズムと毒性

図4 会員向けホームページ 掲載内容の追加更新(調剤と情報「中毒ミニ辞典」)

資料1-1

平成16年1月

賛助会員各位

財団法人 日本中毒情報センター

会員向けホームページの利用アンケート調査について (お願い)

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当財団の運営につきましては、平素からご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当財団では、平成13年8月から医療関係者向けの中毒関連情報を掲載した「賛助会員向けホームページ (平成14年4月から「会員向けホームページ」に名称変更)」を発信いたしております。昨年同様、今後の開発、更新のために本ホームページに関するアンケート調査のご協力をお願いいたします。

本ホームページのご利用は、賛助会員 (企業を除く) の皆様、ホームページ会員 (医療従事者のみ)、ならびに中毒専門家、関連諸機関に限定させていただきますので、(財)日本中毒情報センター・ホームページ (<http://www.j-poison-ic.or.jp>) に設けました会員認証画面で、下記に示しました入力例のように、貴殿 (貴院) の賛助会員区分 (1桁) と番号 (4桁)、12桁の認証番号 (共通) を入力して頂きますようお願い申し上げます。

(入力例) 賛助会員番号 ○-△△△△ の場合 [区分(1桁)-番号(4桁)]
会員区分: ○ (半角数字)
会員番号: △△△△ (半角数字)
認証番号: ***** (半角英数字)

注) この認証番号は平成16年4月30日まで有効

別紙「会員向けホームページの利用アンケート調査」を2月16日までにご返送頂ければ幸いです。ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴殿 (貴院) のますますのご活躍をお祈りいたします。
今後ともどうぞよろしくご支援のほどお願い申し上げます。

敬具

なお、本件につきましてご不明な点がございましたら、下記までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

<連絡先> 本部事務局 企画・広報課 飯田/黒木

TEL: 029-856-3566/FAX: 029-856-3533 E-mail: head-jpic@j-poison-ic.or.jp

会員番号

ご所属名：

ご氏名：

会員向けホームページのご利用アンケート調査

I. 会員向けホームページが公開された平成13年8月1日～平成16年1月現在まで、どのくらいご利用されましたか（延べ数）。該当する数字に○印をお願いします。

1. 利用していない 2. 1～5回 3. 6～10回 4. 11～20回 5. 21回以上

* 「1.利用していない」と回答された方のみ、その理由を選択し記入をお願いします。

a. インターネットを利用していないため（今後の利用予定について 有・無）

b. 利用したかったがアクセスできなかった

（使用コンピュータ機種、OS、ブラウザとバージョン等をご記入ください。）

c. その他（ ）

Iで「1.利用していない」と回答された方でホームページへアクセスが可能な場合は、今回は是非アクセスして頂き、以下の設問にご回答くださいますようお願いいたします。

II. 掲載内容について、a～n各項目の評価をお願いします。評価段階は下記の数字の通りといたしますので、括弧内の該当する数字に○印をお願いします。

1.非常に有用である 2.有用である 3.普通 4.あまり必要ではない 5.不要

- | | |
|----------------------------------|---------------|
| ◇a. ニュース欄 | (1 2 3 4 5) |
| b. 掲示板 | (1 2 3 4 5) |
| c. 中毒情報データベース（化学兵器等中毒対策データベース） | (1 2 3 4 5) |
| ◇d. 中毒情報データベース（保健師・薬剤師・看護師向け） | (1 2 3 4 5) |
| e. 中毒情報データベース（救急隊向け） | (1 2 3 4 5) |
| f. 中毒情報データベース（医師向け） | (1 2 3 4 5) |
| ◇g. 調剤と情報「中毒ミニ辞典」、「薬剤師のための中毒の知識」 | (1 2 3 4 5) |
| h. 中毒研究「中毒情報センターから」 | (1 2 3 4 5) |
| i. JapanMedicine「最近の中毒と医療」 | (1 2 3 4 5) |
| j. 解毒剤情報 | (1 2 3 4 5) |
| ◎k. 症例情報（中毒症例提示データベース） | (1 2 3 4 5) |
| ◎l. 文献検索情報（中毒関連文献検索データベース） | (1 2 3 4 5) |
| m. 文献検索情報（邦文文献タイトル） | (1 2 3 4 5) |
| n. 分析施設情報・簡易分析法情報 | (1 2 3 4 5) |

III. 新規掲載項目（上記IIの◎印項目）、追加掲載項目（上記IIの◇印項目、追加内容は以下参照）の内容について、ご意見をお聞かせください。

<追加掲載>a：項目名変更・順次追加、d：食中毒情報を追加、g：「中毒ミニ辞典」を追加

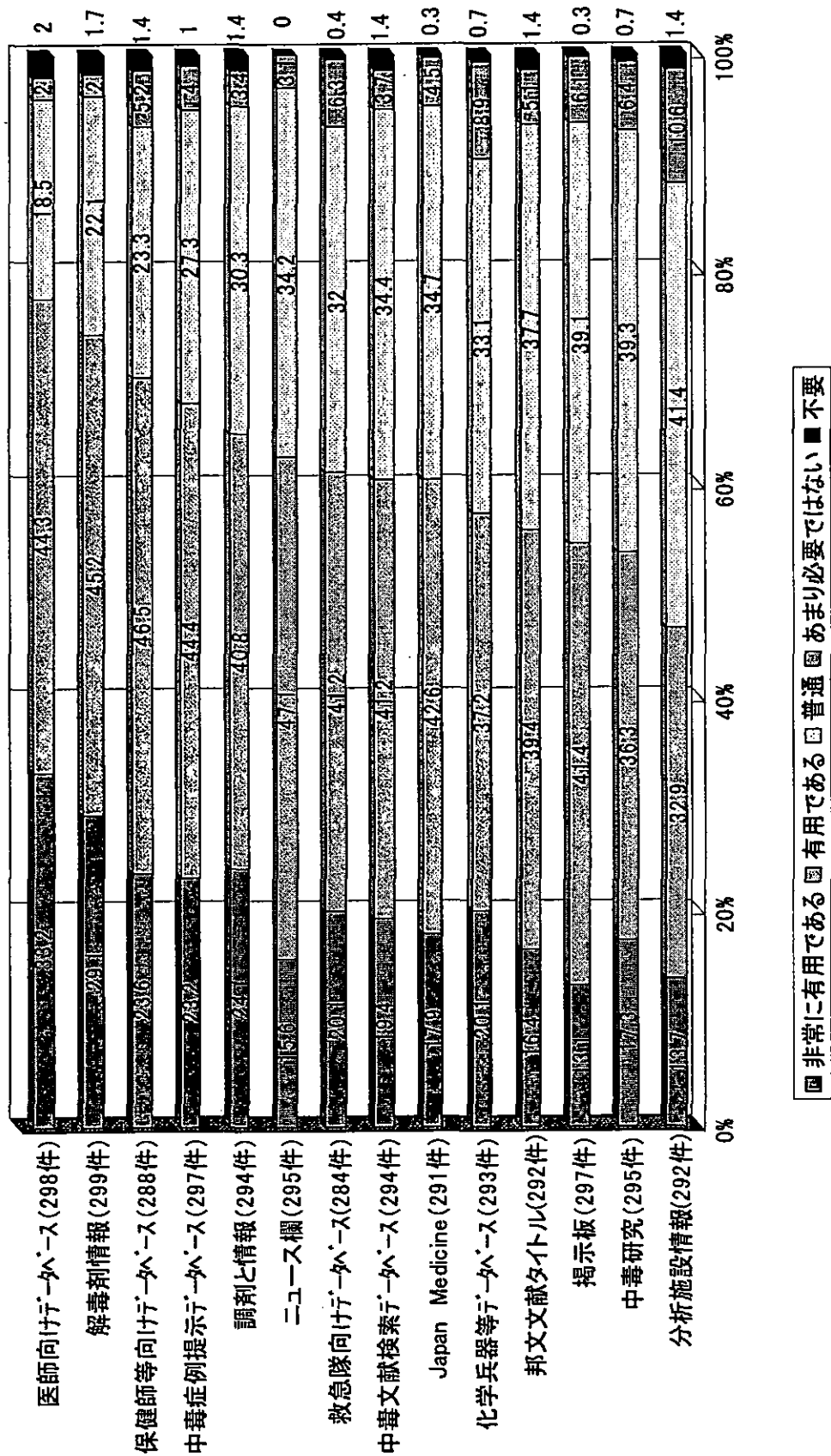
[]

IV. 利用方法、システム、掲載項目の内容、開発を希望する項目、その他の要望などについて、ご自由にご記入ください。

[]

表1 会員向けホームページ利用状況

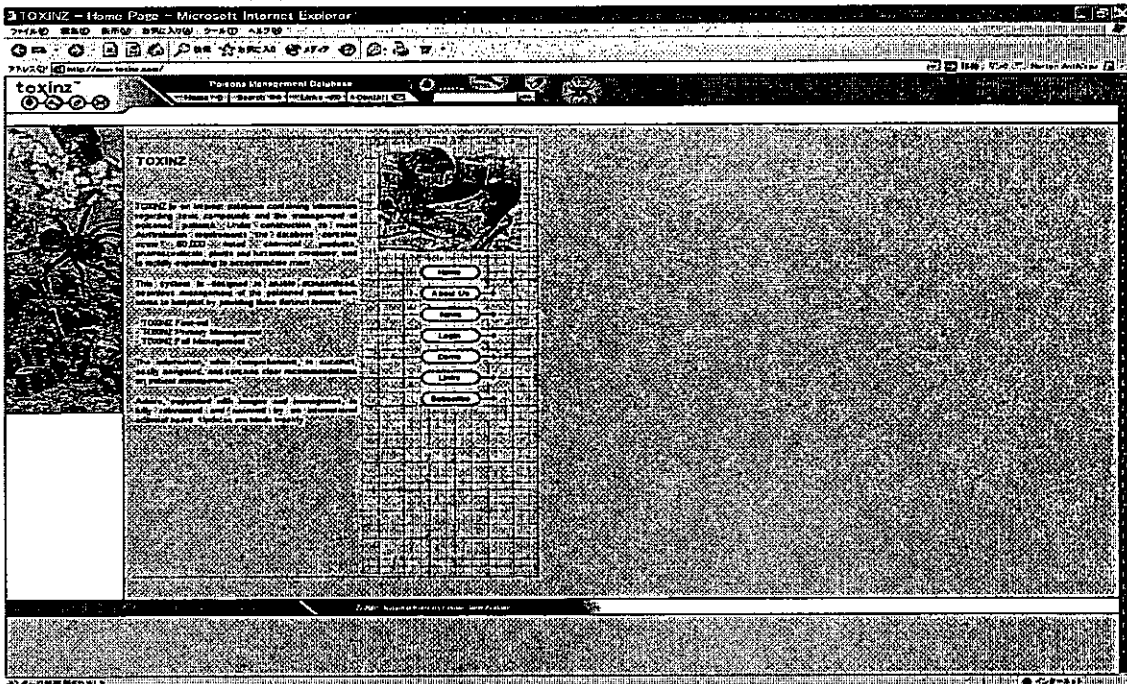
	平成13年度	平成14年度	平成15年度
	回答数(率)	回答数(率)	回答数(率)
利用した	160 (100.0%)	194 (100.0%)	242 (100.0%)
1～5回	129 (80.5%)	131 (67.5%)	158 (65.3%)
6～10回	18 (11.2%)	37 (19.1%)	40 (16.5%)
11～20回	6 (3.8%)	14 (7.2%)	18 (7.4%)
21回以上	6 (3.8%)	8 (4.1%)	18 (7.4%)
不明	1 (0.6%)	4 (2.1%)	8 (3.3%)
利用していない	421 (100.0%)	242 (100.0%)	255 (100.0%)
インターネットを利用していない	224 (53.2%)	148 (61.2%)	142 (55.7%)
必要なかった(電話で充分等)	69 (16.4%)	32 (13.2%)	39 (15.3%)
知らなかった(連絡不備等)	41 (9.7%)	17 (7.0%)	17 (6.7%)
忘れていた	16 (3.8%)	6 (2.5%)	2 (0.8%)
アクセスできなかった	10 (2.4%)	9 (3.7%)	20 (7.8%)
その他	36 (8.6%)	14 (5.9%)	23 (9.0%)
不明	25 (5.9%)	16 (6.6%)	12 (4.7%)



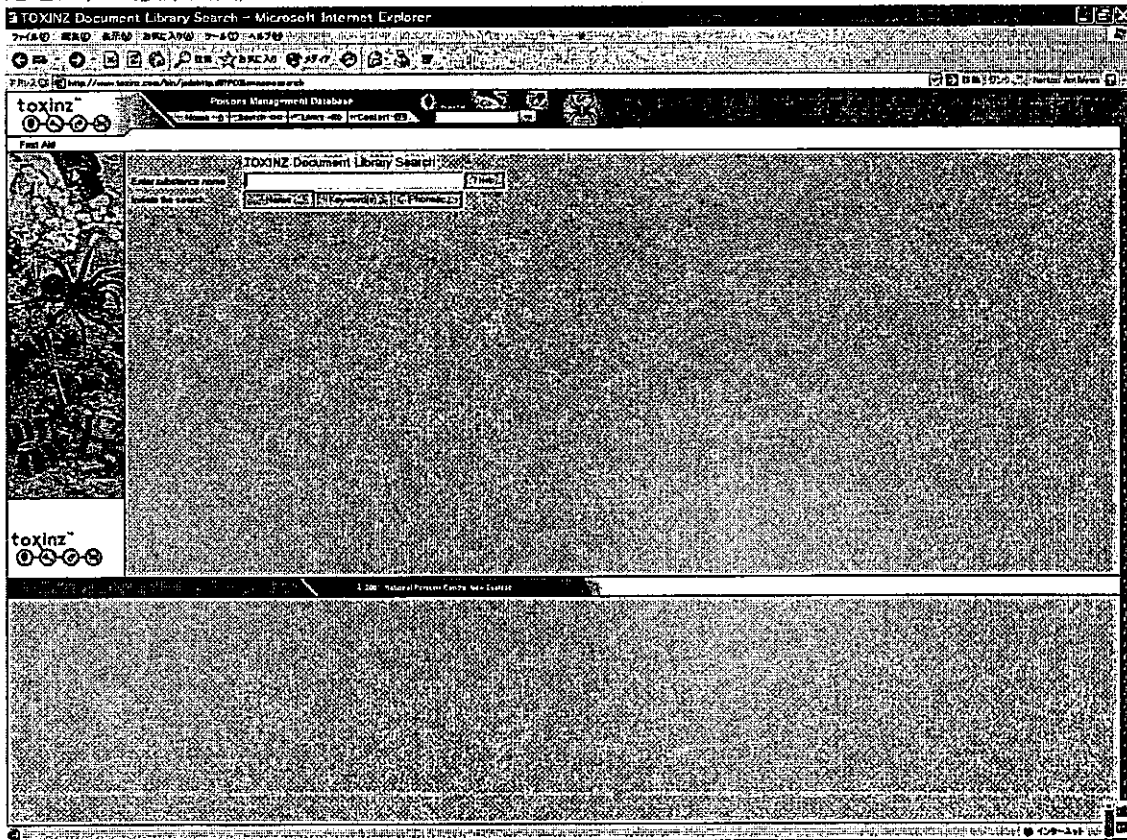
非常に有用である
 有用である
 普通である
 あまり必要ではない
 不要

図5 会員向けホームページ掲載項目の有用性評価

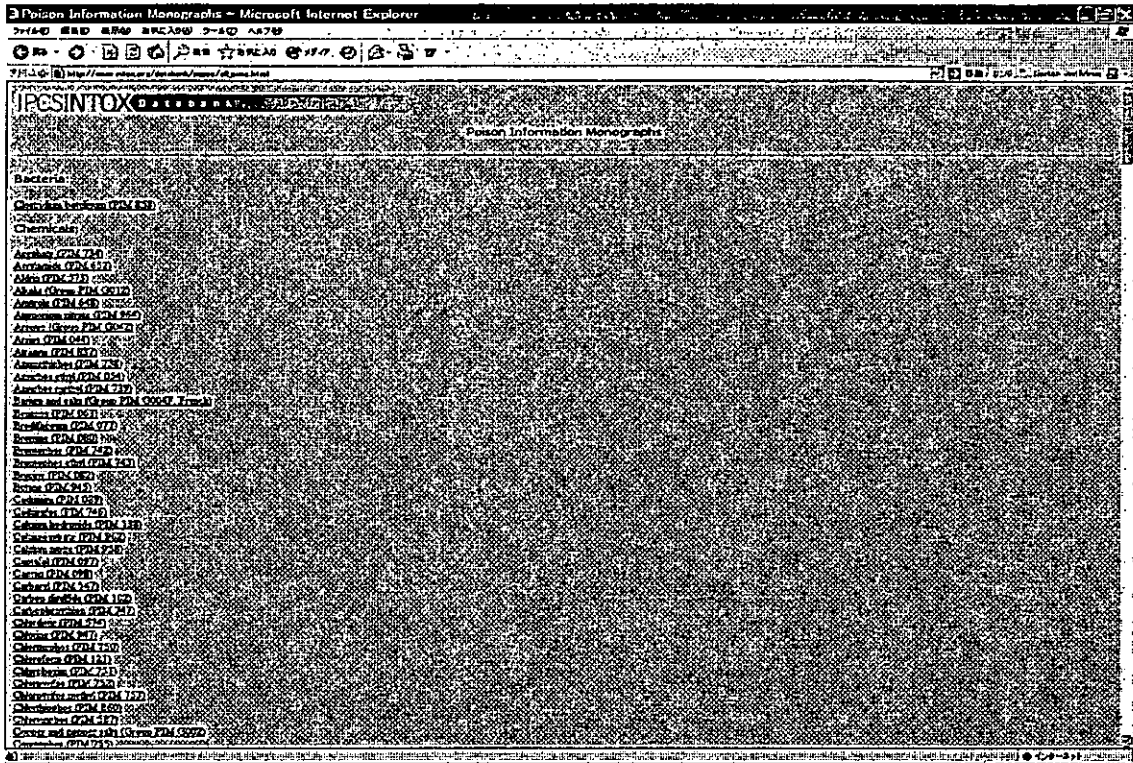
ニュージーランドの中毒センター



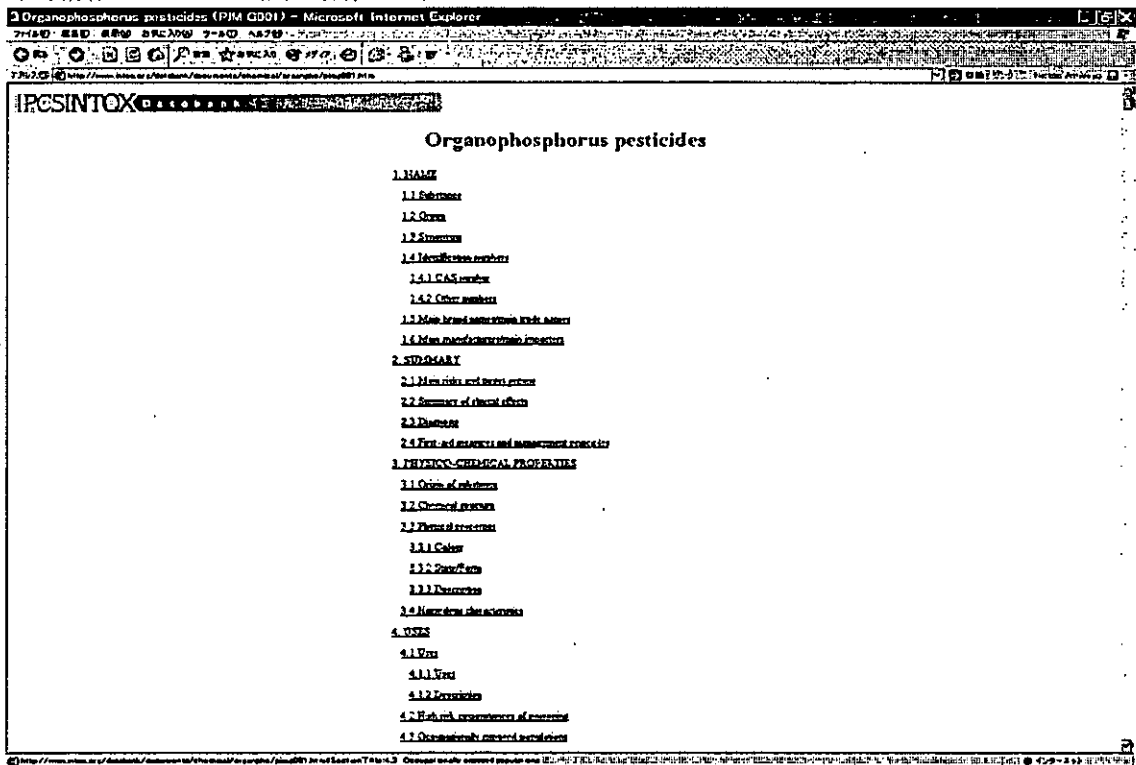
応急処置 (検索画面)



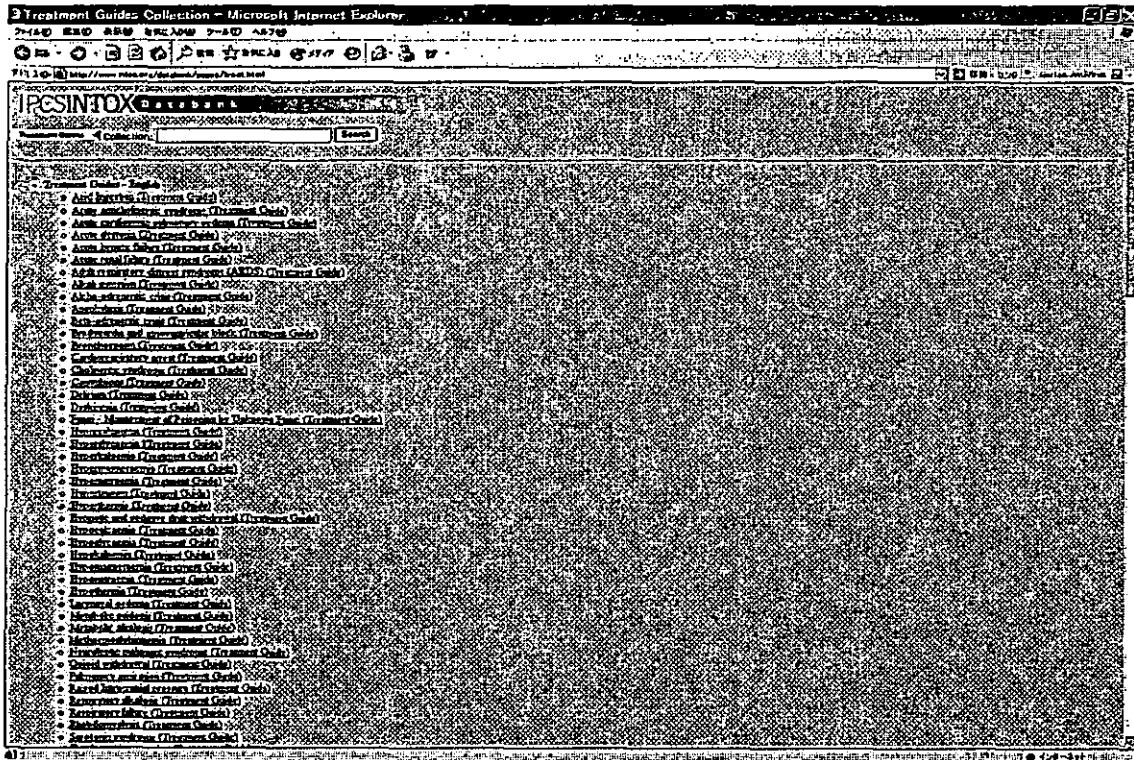
中毒情報モノグラフ



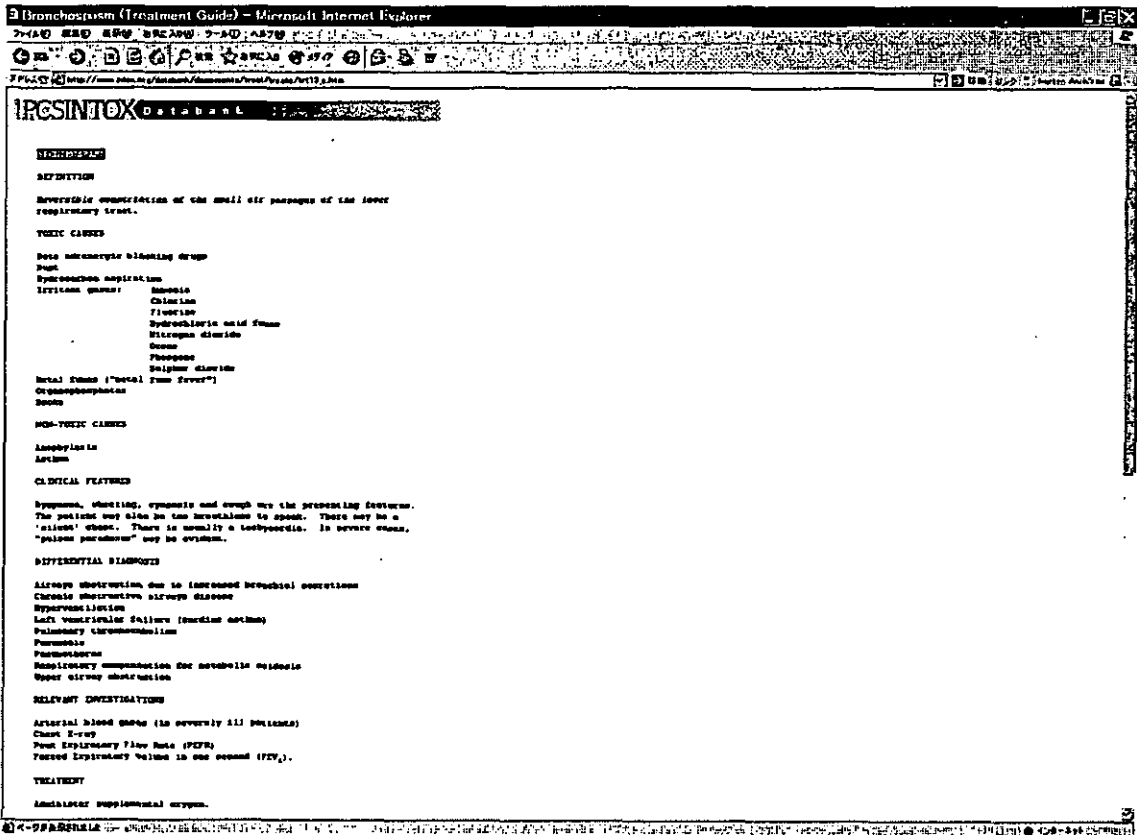
中毒情報モノグラフ (例: 有機リン)



治療法ガイド



治療法ガイド (例: 気管支痙攣)



国立医薬品食品衛生研究所

国立医薬品食品衛生研究所
National Institute of Health Science

国立医薬品食品衛生研究所について

- 概要
- 研究センター
- 研究施設
- 国産食品

〒113-8531 東京都荒川区上野7-1-1
電話(TEL) 03-3796-1111
FAX 03-3796-1112

化学物質に関する情報

化学物質に関する情報

化学物質に関する情報

- 化学物質の危険性評価
- 化学物質の安全管理
- 化学物質の環境影響評価
- 化学物質の健康影響評価
- 化学物質のリスク評価
- 化学物質の規制動向
- 化学物質の国際動向
- 化学物質の調査・研究
- 化学物質の普及啓発

〒113-8531 東京都荒川区上野7-1-1
電話(TEL) 03-3796-1111
FAX 03-3796-1112

国際化学物質安全性カード

ICSC CARD - Microsoft Internet Explorer

http://www.nippon-keizai.co.jp/ICSC/

国際化学物質安全性カード (ICSC) - 日本語版

International Chemical Safety Cards (ICSC) - Japanese Version

国際化学物質安全性カード (ICSC) は、国際化学物質安全センター (ICSC) が、国際労働機関 (ILO) の労働安全衛生局 (OSH) の委託で、国際化学物質安全センター (ICSC) の許可で日本語版に翻訳しています。

What's New (2002.11.14)
 国際化学物質安全性カード (ICSC) は、現在このサイトで (ICSC) の最新バージョン (ICSC) の最新バージョン (ICSC) を提供しています。 (ICSC) の最新バージョン (ICSC) は、現在このサイトで (ICSC) の最新バージョン (ICSC) を提供しています。

日本語版ICSC (ICSC in Japanese)

- 物質検索 - 五十音順リスト - List -
 - 五十音順リスト - List in Japanese
 - 五十音順リスト - List in English
- 物質検索 - 物質名検索 - Search -
 - 物質名 (日本語) - Japanese Substance Name -
 - 物質名 (英語) - English Substance Name -
 - ICSC 番号入力 - ICSC Number -
 - ICSC 番号入力 - CAS Registry Number -
- ICSC 物質名検索 - Substance -
 - 物質名 (日本語) の検索 (Substance Name)
- ICSC 物質名検索 (List in English) -
 - 物質名 (英語) の検索 (Substance Name in English)
 - 物質名 (英語) の検索 (Substance Name in English)

国際化学物質安全性カード 日本語版リスト (五十音順)

ICSC 日本語版リスト (五十音順)

ICSC番号	物質名 (日本語)	物質名 (英語)	CAS番号
1112	酢酸	Acetic acid	64-19-7
1113	酢酸エチル	Ethyl acetate	141-77-3
1114	酢酸ブチル	Butyl acetate	123-86-4
1122	酢酸メチル	Methyl acetate	79-20-9
1123	酢酸エチル	Ethyl acetate	141-77-3
1124	酢酸ブチル	Butyl acetate	123-86-4
1125	酢酸オクチル	Octyl acetate	1119-76-1
1126	酢酸ドデシル	Dodecyl acetate	1119-76-1
1127	酢酸ステアリン	Stearic acid	57-10-8
1128	酢酸パルミチン	Palmitic acid	57-10-8
1129	酢酸オレフィン	Oleic acid	79-11-9
1130	酢酸ラウリン	Lauric acid	143-20-3
1131	酢酸ミリスチン	Miristic acid	143-20-3
1132	酢酸ステアリン	Stearic acid	57-10-8
1133	酢酸パルミチン	Palmitic acid	57-10-8
1134	酢酸オレフィン	Oleic acid	79-11-9
1135	酢酸ラウリン	Lauric acid	143-20-3
1136	酢酸ミリスチン	Miristic acid	143-20-3
1137	酢酸ステアリン	Stearic acid	57-10-8
1138	酢酸パルミチン	Palmitic acid	57-10-8
1139	酢酸オレフィン	Oleic acid	79-11-9
1140	酢酸ラウリン	Lauric acid	143-20-3
1141	酢酸ミリスチン	Miristic acid	143-20-3
1142	酢酸ステアリン	Stearic acid	57-10-8
1143	酢酸パルミチン	Palmitic acid	57-10-8
1144	酢酸オレフィン	Oleic acid	79-11-9
1145	酢酸ラウリン	Lauric acid	143-20-3
1146	酢酸ミリスチン	Miristic acid	143-20-3
1147	酢酸ステアリン	Stearic acid	57-10-8
1148	酢酸パルミチン	Palmitic acid	57-10-8
1149	酢酸オレフィン	Oleic acid	79-11-9
1150	酢酸ラウリン	Lauric acid	143-20-3
1151	酢酸ミリスチン	Miristic acid	143-20-3
1152	酢酸ステアリン	Stearic acid	57-10-8
1153	酢酸パルミチン	Palmitic acid	57-10-8
1154	酢酸オレフィン	Oleic acid	79-11-9
1155	酢酸ラウリン	Lauric acid	143-20-3
1156	酢酸ミリスチン	Miristic acid	143-20-3
1157	酢酸ステアリン	Stearic acid	57-10-8
1158	酢酸パルミチン	Palmitic acid	57-10-8
1159	酢酸オレフィン	Oleic acid	79-11-9
1160	酢酸ラウリン	Lauric acid	143-20-3
1161	酢酸ミリスチン	Miristic acid	143-20-3
1162	酢酸ステアリン	Stearic acid	57-10-8
1163	酢酸パルミチン	Palmitic acid	57-10-8
1164	酢酸オレフィン	Oleic acid	79-11-9
1165	酢酸ラウリン	Lauric acid	143-20-3
1166	酢酸ミリスチン	Miristic acid	143-20-3
1167	酢酸ステアリン	Stearic acid	57-10-8
1168	酢酸パルミチン	Palmitic acid	57-10-8
1169	酢酸オレフィン	Oleic acid	79-11-9
1170	酢酸ラウリン	Lauric acid	143-20-3
1171	酢酸ミリスチン	Miristic acid	143-20-3
1172	酢酸ステアリン	Stearic acid	57-10-8
1173	酢酸パルミチン	Palmitic acid	57-10-8
1174	酢酸オレフィン	Oleic acid	79-11-9
1175	酢酸ラウリン	Lauric acid	143-20-3
1176	酢酸ミリスチン	Miristic acid	143-20-3
1177	酢酸ステアリン	Stearic acid	57-10-8
1178	酢酸パルミチン	Palmitic acid	57-10-8
1179	酢酸オレフィン	Oleic acid	79-11-9
1180	酢酸ラウリン	Lauric acid	143-20-3
1181	酢酸ミリスチン	Miristic acid	143-20-3
1182	酢酸ステアリン	Stearic acid	57-10-8
1183	酢酸パルミチン	Palmitic acid	57-10-8
1184	酢酸オレフィン	Oleic acid	79-11-9
1185	酢酸ラウリン	Lauric acid	143-20-3
1186	酢酸ミリスチン	Miristic acid	143-20-3
1187	酢酸ステアリン	Stearic acid	57-10-8
1188	酢酸パルミチン	Palmitic acid	57-10-8
1189	酢酸オレフィン	Oleic acid	79-11-9
1190	酢酸ラウリン	Lauric acid	143-20-3
1191	酢酸ミリスチン	Miristic acid	143-20-3
1192	酢酸ステアリン	Stearic acid	57-10-8
1193	酢酸パルミチン	Palmitic acid	57-10-8
1194	酢酸オレフィン	Oleic acid	79-11-9
1195	酢酸ラウリン	Lauric acid	143-20-3
1196	酢酸ミリスチン	Miristic acid	143-20-3
1197	酢酸ステアリン	Stearic acid	57-10-8
1198	酢酸パルミチン	Palmitic acid	57-10-8
1199	酢酸オレフィン	Oleic acid	79-11-9
1200	酢酸ラウリン	Lauric acid	143-20-3

国際化学物質安全性カード (例: 2, 4-D 表形式)

国際化学物質安全性カード (WHO/IPCS/UIO) - Microsoft Internet Explorer

2,4-ジクロロフェノキシ酢酸

2,4-DICHLOROPHENOXYACETIC ACID

2,4-D
CAS 60300
分子量 231.0

CAS番号 84-75-7
RTECS番号 ADM22000
ICSC番号 0023
国連番号 2783
EC番号 607-038-00-8

<p>危険性</p> <p>腐食性/刺激性 環境有害</p>	<p>健康影響</p> <p>皮膚/粘膜刺激 水生生物有害</p>	<p>物理的性質</p> <p>融点: 138°C 沸点: 235°C 比重: 1.5</p>	<p>化学的性質</p> <p>水に可溶性 有機溶媒に可溶性</p>
<p>環境影響</p> <p>水生生物に有害 土壌汚染</p>	<p>暴露防止</p> <p>保護服着用 換気設備</p>	<p>貯蔵</p> <p>密閉容器 避光</p>	<p>廃棄</p> <p>中和処理 埋没</p>

ICSC番号 0023

国際化学物質安全性カード

2,4-ジクロロフェノキシ酢酸

ICSC番号 0023

国際化学物質安全性カード (例: 2, 4-D テキスト形式)

ICSC CARD - Microsoft Internet Explorer

International Chemical Safety Cards (ICSCs) are prepared in the context of cooperation between the International Programme on Chemical Safety & the Commission of the European Communities.

2,4-ジクロロフェノキシ酢酸

2,4-DICHLOROPHENOXYACETIC ACID

- 2,4-D (18102027)
- CAS 84-75-7 (182027)
- 分子量 231.0 (182027)
- CAS番号 84-75-7 (182027)
- RTECS番号 ADM22000 (2)
- ICSC番号 0023
- 国連番号 2783
- EC番号 607-038-00-8

【物性】

- 融点: 138°C (182027)
- 沸点: 235°C (182027)
- 比重: 1.5 (20°C) (182027)
- 水への溶解性: 可溶性 (20°C) (2)
- 蒸気圧: 53 Pa (18°C) (182027)
- 相対蒸気密度 (空気 = 1): 2.8
- log Pow (オクタン/水分配係数): 2.81 (22)

【健康データ】

物理的状態: 固体
- 固体で、黄色の結晶あるいは白色の粉末。 (182027)

化学的性質:
- 酸と中和し、塩化水素を生成する。 (18)

環境影響:
- 水生生物に有害。 (2)

暴露防止:
- TLV: 10 mg/m³ (TWA) M (ACGIH 2001) (1)

健康への影響:
- エアロゾルの吸入、経口摂取により、ある程度に有害に作用する。 (22)

環境への影響:
- この物質は20°Cでほぼ完全に気化し、特に乾燥の場合、噴霧は広く拡散すると予想され、水生生物に有害な濃度になることがある。 (22)

廃棄:
- この物質は、廃棄、処理を要する。 (182027)

参考文献:
- 動物試験はこの物質が人の健康に影響を及ぼす可能性があることを示している (182027)

動物への影響:
- この物質は水生生物に対して有害である。

健康危機管理関連情報

健康危機管理関連情報

国立健康総合研究所

国内外の健康危機管理関連リンクの集
(中毒、食害、災害救助、災害復旧、災害時の対応、化学物質事故などに際する情報へのリンク)

- ▶ 国内の関連機関
- ▶ 国内の関連機関
- ▶ 国内の関連機関
- ▶ 国内の関連機関
- ▶ 国際的な研究機関
- ▶ 国際的な研究機関(英語版)
- ▶ 国際的な研究機関(英語版)
- ▶ 国際的な研究機関(英語版)

本ホームページは、化学物質による健康の被害の防止や被害の軽減を図るための情報提供の一環として作成しています。
更新: 2004年2月25日
国立健康総合研究所 健康危機管理課
〒100-8543 東京都千代田区千代田1-1-1 内務省ビル3F

本ページに関するお問い合わせ
(本ページの更新内容についてはお問い合わせ下さい。)

化学物質による事故事例データベース

化学物質による事故事例データベース

検索方法その1
日本語で検索。キーワードを入力し、検索ボタンをクリックしてください。
[検索] [戻る]

検索方法その2
英語検索のフォームから1項目を選んで下さい。
検索: 下の英語フォームから1項目を選んで検索してください。例: "acid" で検索。
検索: 下の英語フォームから1項目を選んで検索してください。例: "acid" で検索。
検索: 下の英語フォームから1項目を選んで検索してください。例: "acid" で検索。

検索結果一覧

<input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> 化学物質 	<input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> 化学物質 	<input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> 化学物質 <input type="checkbox"/> 化学物質
--	--	--

※ 引当資料リスト
上記の検索結果における各事例の発見の順序は引当資料番号です。

化学物質による事故事例データベース (検索用語例：硫化水素、処理施設)

原因物質	発生日時	発生場所	被害者数 (死者を除く)	死者数	状況	引用文献
硫化水素	1983.08	北海道		2	食品製造工場の汚水処理施設内の汚水貯槽を清掃中、槽内の底部の汚泥をかき集めていた時、	141
硫化水素	1985.10	徳島県	1	1	ビル地下の汚物槽の内面、注水により壁面清掃中時、流出者も被災。	141
硫化水素	1985.10	青森県	2		魚の処理の際に出る臭水処理施設の集気槽の上で手すり等の清掃作業中被災。	141
硫化水素	1985.10	大阪府	1	1	清掃のための酸化ソーダノリスワッフをトラム缶へ積み出す作業中、トラム缶にひびきかかっていた。スワッフから発生した硫化水素で被災。	141
硫化水素	1985.10	東京都	1		し尿貯留槽の上に設置してある便所で用便後、便を流している便所の開口から漏出した硫化水素で被災。貯留槽の排気ファンが故障していた。	141
硫化水素	1988.01	兵庫県	2		皮革製靴の修理を受託したアルマジロ革を中入れとして保管していたところ、硫化水素が発生。	140
硫化水素	1988.04	福岡県	1		し尿貯留槽の蓋をかき出すため、作業員が槽内に入り被災。	140
硫化水素	1988.04	福島県	2		五酸化リンの製造工程で発生する汚泥物の汚染処理作業中、加水分解・中和処理を行った際、汚泥物に含まれていた五酸化リンと排水が反応し、硫化水素が発生。	140
硫化水素	1988.08	兵庫県	2		魚貝類処理工程の水抜きポンプ清掃のための作業員2名が魚の槽内に入り被災。	140
硫化水素	1988.07	埼玉県	2		皮革製靴修理場の汚水排水施設で配管修繕のための水ビッドに入り被災。救出者2名も被災。	140
硫化水素	1988.07	神奈川県	1		汚泥処理反応の終点を確認するためにサンプリングを行おうとしたが、器具を差しこむ途中意識を失い、死亡。	140
硫化水素	1988.07	石川県	1		ごみ処理場の汚泥貯留槽の内部に入り、清掃作業中に被災。	140
硫化水素	1988.08	山梨県	1		し尿槽の蓋を取り作業中、し尿をかき寄せるため作業員1名が槽内に入り、作業中に被災。	140
硫化水素	1988.08	福岡県	1	1	魚介、魚粉製造工程の汚水、魚の生肉カス等を集めておく血水ビッド清掃のため、ビッド内に入り被災。救出者も被災。	140
硫化水素	1988.08	徳島県	4		し尿貯留槽の清掃作業中、作業員1名が中に入り被災。救出者3名も被災。	140

関連リンク集 (例：国内の関連機関 Web ガイド)

国内の関連機関Webガイド

【国内機関】

- 厚生労働省
 - 安全衛生局
 - 労働安全衛生局
 - 労働安全衛生研究所
 - 労働安全衛生センター
 - 労働安全衛生推進センター
- 環境省
 - 環境政策総務課
 - 環境衛生課
 - 環境保健課
- 経済産業省
 - 労働安全衛生推進課
 - 労働安全衛生推進センター
 - 労働安全衛生推進センター
- 国土交通省
 - 労働安全衛生推進課
 - 労働安全衛生推進センター
 - 労働安全衛生推進センター
- 消防庁
 - 労働安全衛生推進課
 - 労働安全衛生推進センター
 - 労働安全衛生推進センター
- その他の関係機関
 - 労働安全衛生推進センター(指定)
 - 労働安全衛生推進センター
 - 労働安全衛生推進センター
 - 労働安全衛生推進センター
 - 労働安全衛生推進センター
- 労働安全衛生推進センター(指定)
- 労働安全衛生推進センター
- 労働安全衛生推進センター
- 労働安全衛生推進センター
- 労働安全衛生推進センター